allcinema

幻の次回作　ガメラ対ガラシャープ（1991）

メディア オリジナルビデオ
ジャンル 特撮　ドキュメンタリー
製作国　日本
TV放映　1991/12/13 ～

【解説】
　１９９１年１２月１３日に発売された昭和ガメラシリーズ全作と映像資料を収録したＬＤボックス「ガメラ永久保存化計画」に特典映像として収録されたドキュメンタリー「ガメラ伝説」の中の一編。１９７１年の「ガメラ対深海怪獣ジグラ」の後、「ガメラ対双頭怪獣W」というタイトルで次回作の企画が練られていたが、大映倒産のためこの企画は日の目を見ることがなかった。本作はこのときの企画のコンセプトの一つを当時のスタッフによって書き直し、ミニチュアとイラストで映像化したものである。
　新宿に現れた蛇型の怪獣ガラシャープとガメラが対戦する。ガラシャープは舌をガメラの体内に挿入するとガメラの熱エネルギーを吸収する。エネルギーを得て巨大化するガラシャープ、逆にガメラは白く変色し倒れてしまう。
　ガラシャープの出す毒ガスで無人と化した東京郊外の街で、復活したガメラとガラシャープとの戦いが再び始まる。新型爆弾を飲み込んだガラシャープにガメラの火炎放射が引火し、ガラシャープは爆発死する。しかし、ガラシャープは既に２匹の子供を産んでいた。その子供を抹殺しようとする防衛隊に対し、ガメラは意外な行動を起こす……。
　本作の末尾にはガメラの対戦怪獣の候補の一つであったマルコブカラッパを立体化した映像も収録されている。なお、本作はＮＨＫ衛星放送でガメラ特集が放送された際に一部が放送された。

【クレジット】
監修　湯浅憲明
ストーリー原案　高橋二三
怪獣デザイン　井上章

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.